



決算説明会資料

2011年3月期第2四半期



株式会社ニレコ

証券コード：6863

~ 目 次 ~

2011年(平成23年)3月期第2四半期

決算の概要	P . 3 ~ 9
今期業績見通し	P . 10 ~ 12
セグメント別の実績と見通し	P . 12 ~ 27
配当政策	P . 28

2011年3月期第2四半期

～ 決算の概要 ～

- 受注高は前年同期比22.0%増、売上高は同12.3%増に。
- 主要3事業の売上高は前年同期を上回り、特にウェブ事業は最近の落ち込みを脱し回復基調に転じた。
- 増収効果と販管費の削減により営業利益となり、黒字に回復。
- 保有する株式の評価損に伴う特損計上があったが、四半期純利益71百万円となった。

セグメントの内容の一部変更について

第3四半期より、印刷品質検査装置のセグメント区分を検査機事業からウェブ事業に移行

(旧セグメント)

プロセス事業

ウェブ事業	耳端位置制御装置
	張力制御装置
	見当合わせ制御装置
	糊付け装置

検査機事業	印刷品質検査装置
	無地検査装置
	画像処理装置
	青果物検査装置

(新セグメント)

プロセス事業

ウェブ事業	耳端位置制御装置
	張力制御装置
	見当合わせ制御装置
	印刷品質検査装置
	糊付け装置

検査機事業	無地検査装置
	画像処理装置
	青果物検査装置

有機EL等の次世代
技術に向けた制御装置

印刷業界の設備投資
が縮小傾向

印刷向け事業の
整備・効率化が急務

- ・印刷品質検査装置の技術を応用した、高精度で高速対応のセンサ開発を早期に開発する
- ・印刷関係の制御装置と検査装置のセット販売による機会創出あるいは検査装置の技術を用いた制御装置の開発を図る
- ・印刷関係の設備投資の急速な縮小に対応すべく、統合による効率化を図る

損益計算書の概要

(単位：百万円)

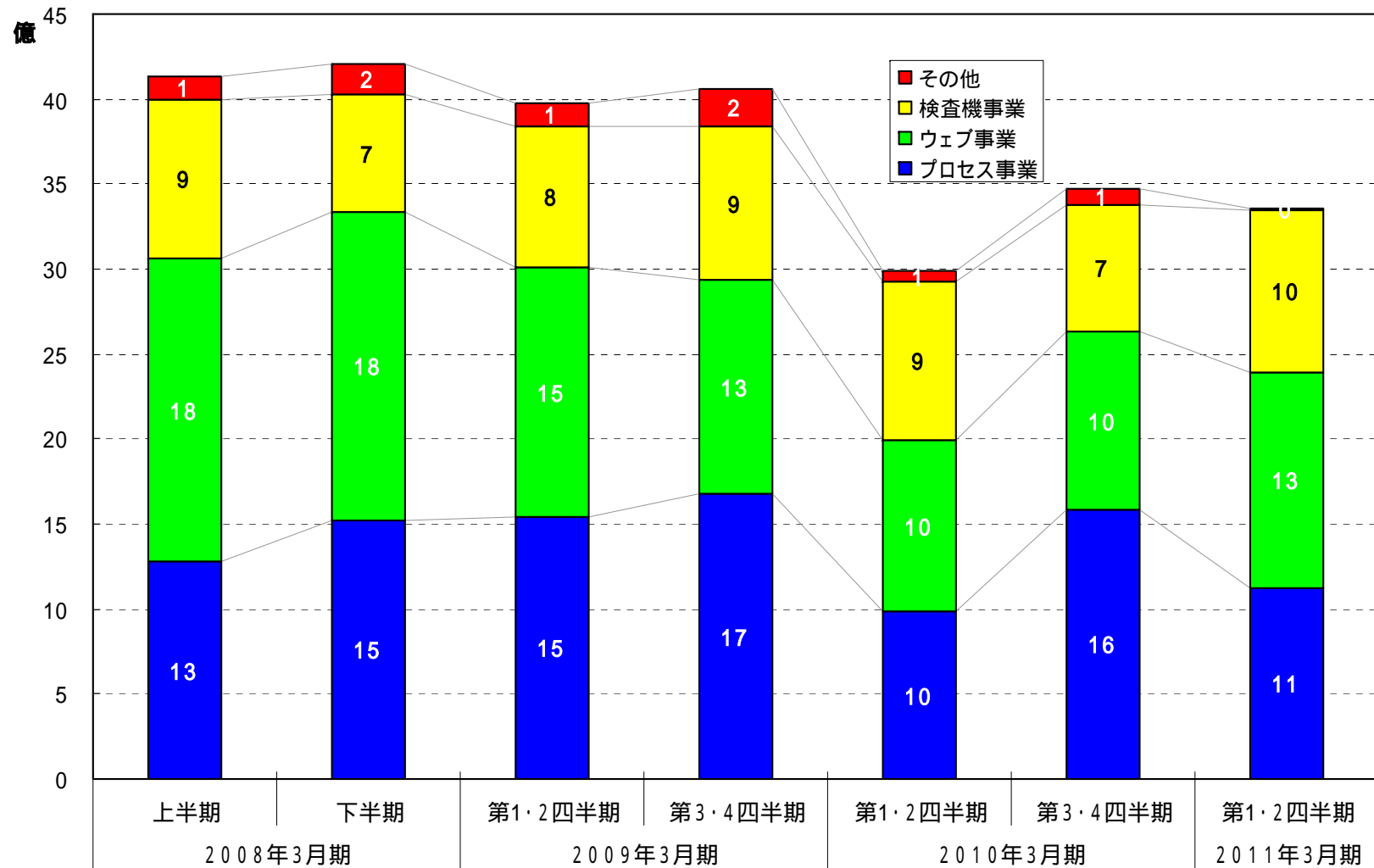
	当第2四半期(10/9)		前第2四半期(9/9)		増減	
	金額	比率	金額	比率	金額	伸率
売上高	3,361	100.0%	2,994	100.0%	367	12.3%
売上総利益	1,111	33.1%	889	29.7%	221	24.9%
販売費及び 一般管理費	994	29.6%	1,052	35.1%	57	5.5%
営業利益	116	3.5%	162		279	
経常利益	154	4.6%	162		316	
当期純利益	71	2.1%	169		240	
設備投資額	26	0.8%	41	1.4%	15	37.6%
減価償却費	55	2.1%	80	2.7%	25	31.2%
研究開発費	300	8.9%	448	15.0%	148	33.0%
一株当り利益	9円82銭		23円16銭			

セグメント別受注及び売上の状況

(単位：百万円)

	受注高		売上高		受注残高	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
プロセス事業	1,248	23.2%	1,127	14.5%	1,056	36.3%
ウェブ事業	1,306	33.8%	1,264	25.3%	400	36.4%
検査機事業	914	20.4%	952	2.6%	580	76.8%
その他	22	80.3%	17	76.1%	7	81.8%
合計	3,491	22.0%	3,361	12.3%	2,044	11.9%

セグメント別の売上推移



貸借対照表の概要

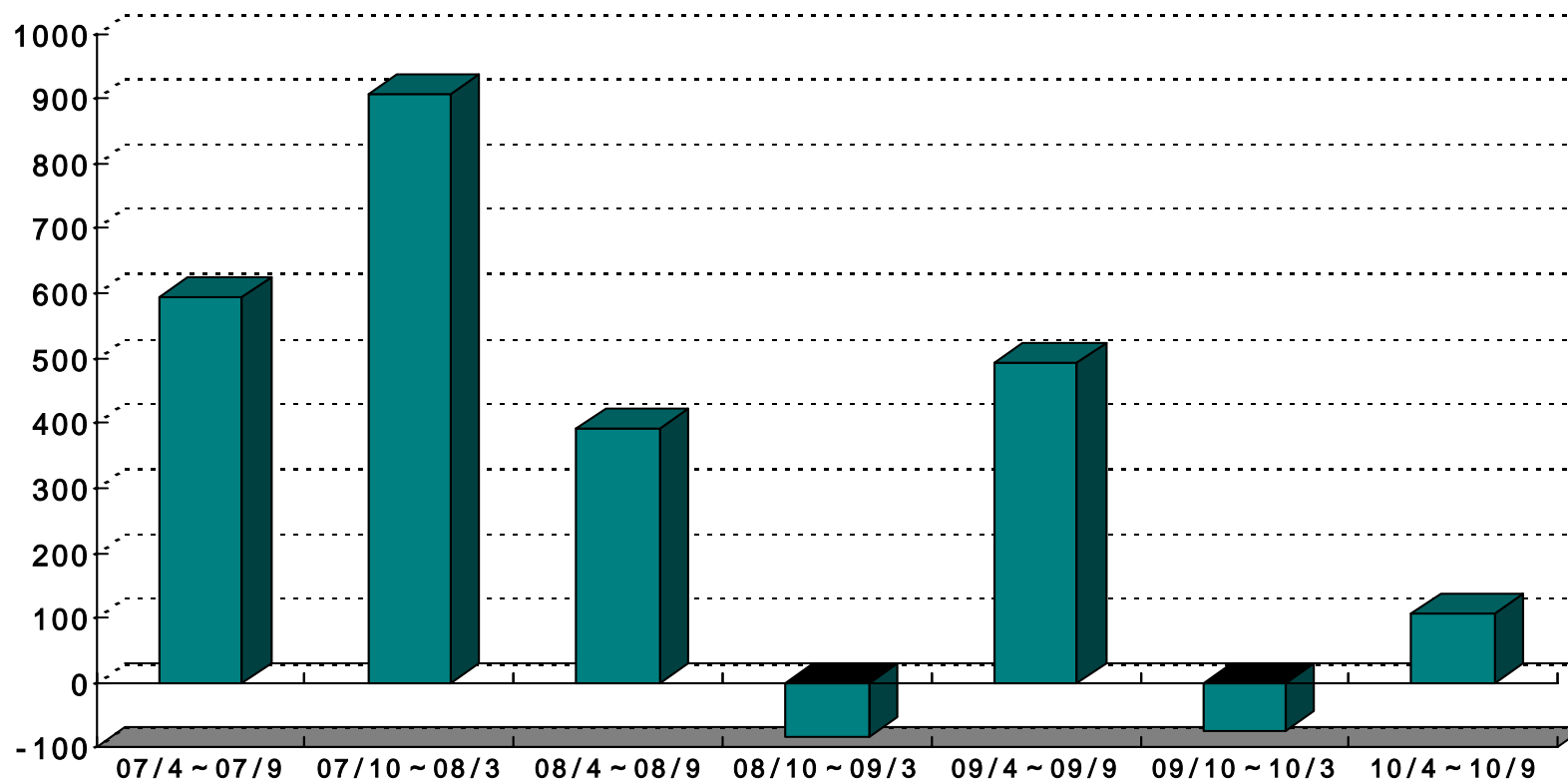
(単位：百万円)

	当11/3第2四半期末		10/3期末		増減 (1)-(2)	備考
	金額(1)	構成比	金額(2)	構成比		
現金預金	2,967	26.8%	2,854	25.7%	112	
売上債権	2,842	25.7%	2,839	25.6%	3	
有価証券	84	0.8%	137	1.2%	53	
棚卸資産	1,858	16.8%	1,779	16.0%	79	ウェブ事業の受注伸長に伴い短納期対応
その他流動資産	275	2.4%	283	2.6%	7	
流動資産計	8,028	72.5%	7,894	71.1%	133	
有形固定資産	1,344	12.1%	1,378	12.4%	33	
無形固定資産	83	0.8%	96	0.9%	12	
投資その他の資産	1,613	14.6%	1,733	15.6%	120	投資有価証券の減少(評価損を含め)
固定資産計	3,041	27.5%	3,208	28.9%	166	
資産合計	11,070	100.0%	11,103	100.0%	32	
買入債務	365	3.3%	383	3.5%	18	
その他流動負債	538	4.9%	449	4.1%	88	
流動負債計	903	8.2%	833	7.5%	70	
固定負債計	196	1.7%	230	2.1%	34	
負債合計	1,099	9.9%	1,063	9.6%	35	
資本合計	9,970	90.1%	10,039	90.4%	68	配当金、その他有価証券評価差額金他
負債純資産合計	11,070	100.0%	11,103	100.0%	32	

フリーキャッシュフローの推移

四半期純利益となったことや有価証券評価損などにより営業キャッシュフローが増加し、定期預金の預入等により投資活動によるキャッシュフローは減少した。

(単位：百万円)



注)フリーキャッシュフロー(FCF) = 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

今期業績見通し

(単位：百万円)

	今期計画 (11/3)		前期実績 (10/3)		増 減	
	金額	比率 (%)	金額	比率 (%)	金額	伸率 (%)
売上高	7,200	100.0	6,465	100.0	735	11.4
売上総利益	2,270	31.5	1,695	26.2	575	33.9
販売費及び一般管理費	2,000	27.8	2,013	31.1	13	0.6
営業利益	270	3.7	317		587	
経常利益	320	4.4	318		638	
当期純利益	210	2.9	407		617	
設備投資	100	1.4	101	1.6	1	1.0
減価償却費	170	2.4	172	2.7	2	1.2
研究開発費	850	11.8	842	13.0	7	0.9
一株当り利益	28.72		55.77			

受注及び販売の見通し

(単位：百万円)

	受注高			売上高		
	金額		伸び率	金額		伸び率
	当初見通し	修正		当初見通し	修正	
プロセス事業	2,300	2,300	23.0%	2,400	2,400	6.4%
ウェブ事業	2,400	2,800	32.4%	2,400	2,800	19.0%
検査機事業	2,300	2,100	26.8%	2,200	2,000	26.5%
その他	200	0		200	0	
合計	7,200	7,200	21.5%	7,200	7,200	11.4%

注)伸び率は前年実績に対する修正見込み金額の伸び率

2011年3月期

～ 今期見込みのポイント～

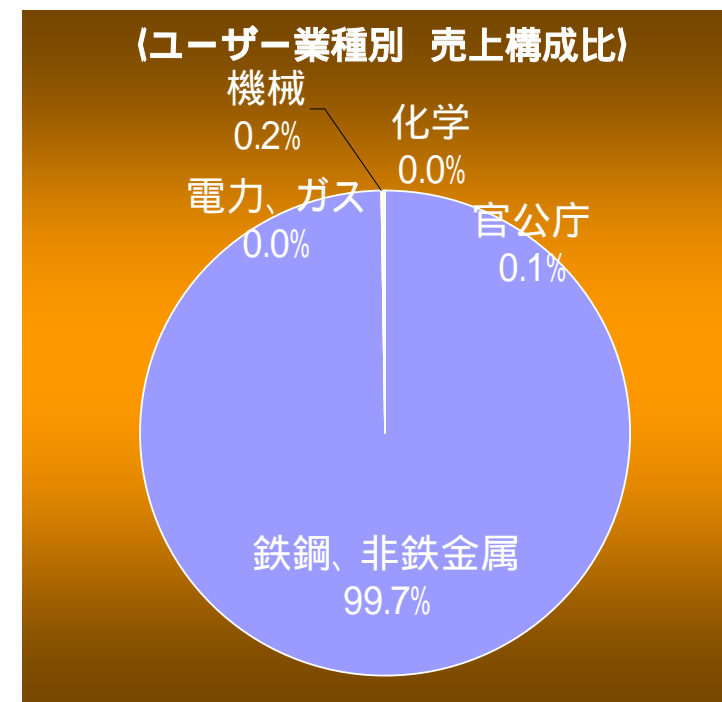
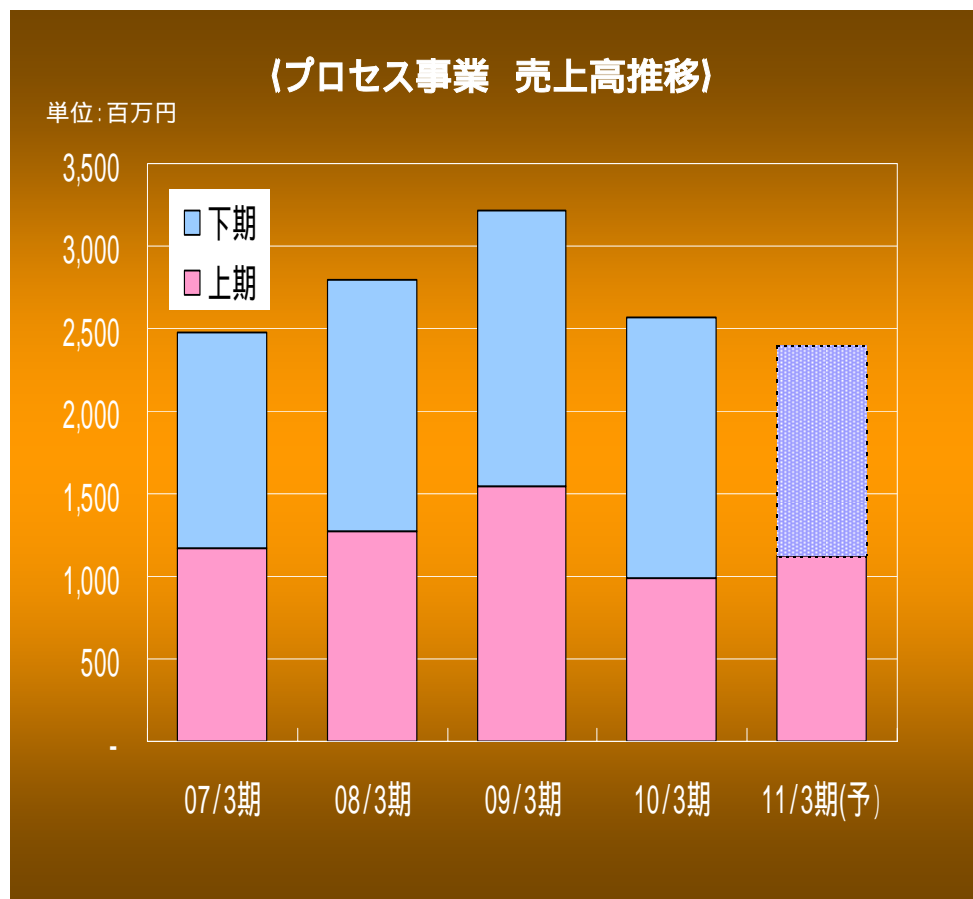
- 通期における受注高は前年同期比21.5%増、売上高は同11.4%増の見通し。
- プロセス事業は受注残が減少し厳しいが落ち込みを最小限に抑え、回復に転じたウェブ事業がカバーし、検査機事業の伸長により目標達成を目指す。
- 販管費の節減を継続する。
- グループの子会社の好調は続く見通し。

プロセス事業の概況

国内鉄鋼業界は新規設備計画停止状態が続く、海外は中国が落ち着く一方でインドに案件が集中し熾烈な争奪戦となった。自動識別印字装置以外の新規受注が減少したが、サービス、予備品関係の回復により、受注が前年同期に対して23.2%増、売上が14.5%増。

(単位：百万円)

売上高	1,127
営業利益	97



今期施策の経過状況

(国内施策)

設備の部分更新・部分改造等中小案件について漏れなく受注を獲得する

継続中

ニレコ計装(サービス子会社)との連携と旧型製品のユーザーへの働きかけを継続

自動識別印字装置の営業を強化

専任の営業を配置、新開発への関与、電炉・特殊鋼メーカーへのPR

継続 発展

国内大手メーカーの大型開発案件への参加 組織的対応のため課を新設
国内において自動識別印字装置に新たな市場の可能性

(海外施策)

専門商社との提携により、新たな販売ルート開拓

継続中

部長相当の営業職1名の出向を受け、インド、トルコなどで開拓活動
商社現地支社でも営業活動するも、各種品目の中でのニレコ製品の取扱には限界
現地のプラントメーカーにOEM供給による新たな販売ルート

海外のニーズに応じた製品を開発投入

耳端位置制御装置

自動識別印字装置:中国での簡易型マーカ生産

継続中

中国においてメーカー第1号を製作し、インドの製鉄所に出荷据付の予定

国内市場の回復は来期以降の見通し

前年同期に比べ、メンテナンスや予備品の購入は再開したが、節約の方針は継続
更新、増設の見積り依頼は1～3月の時期に比べ少しずつ増えてきた
自動識別印字装置関係は動いている

国内設備が動き出すのは来期以降

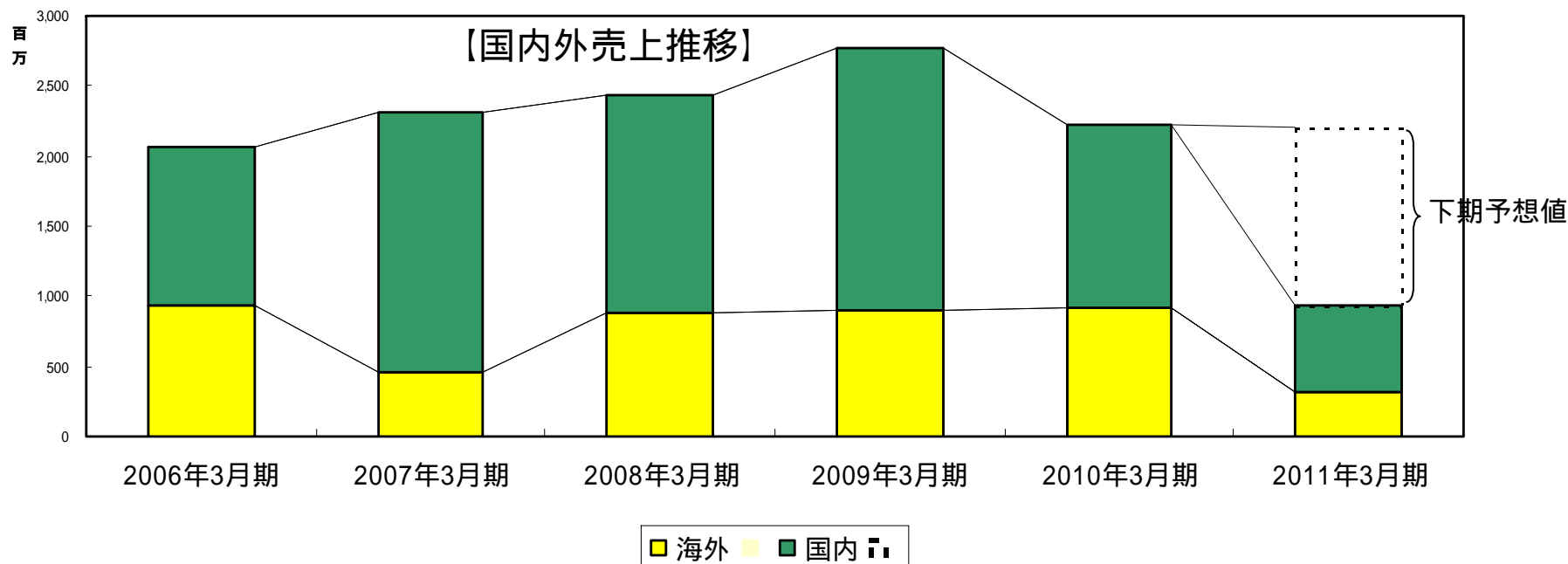
海外市場は、沈静化の傾向

中国：製鉄所の統廃合が進まず、生産過剰の状態です。新規案件はストップしている。

韓国・台湾：新規案件が終わり、設備更新の機をうかがう状態

インド：自動車用鋼板ライン等日本のメーカーも協力した案件も動いている

**競合の欧州メーカーも地元欧州市場が不調なため、インド市場に注力の結果、競争が激化
価格競争の様相(受注額、収益への影響)**



プロセス事業

第3～4四半期の施策

国内で受注を洩れなく獲得するとともに、海外での受注獲得を重点的に活動

(国内) 従来施策の継続

設備の部分更新・部分改造を中心に漏れなく受注を獲得する
自動識別印字装置について、結束機メーカー、耐熱ラベルメーカーとの協力により新たな販売ルートを開拓する
鉄鋼メーカーの自動識別印字装置を含む開発計画に参加し、次世代を踏まえた販売ルートと可能性を開く

(海外) 従来施策の継続

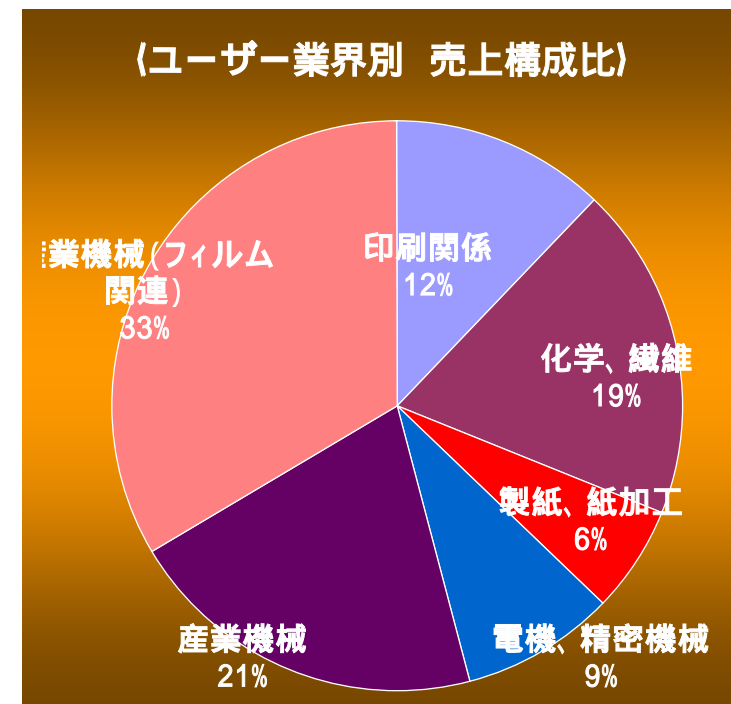
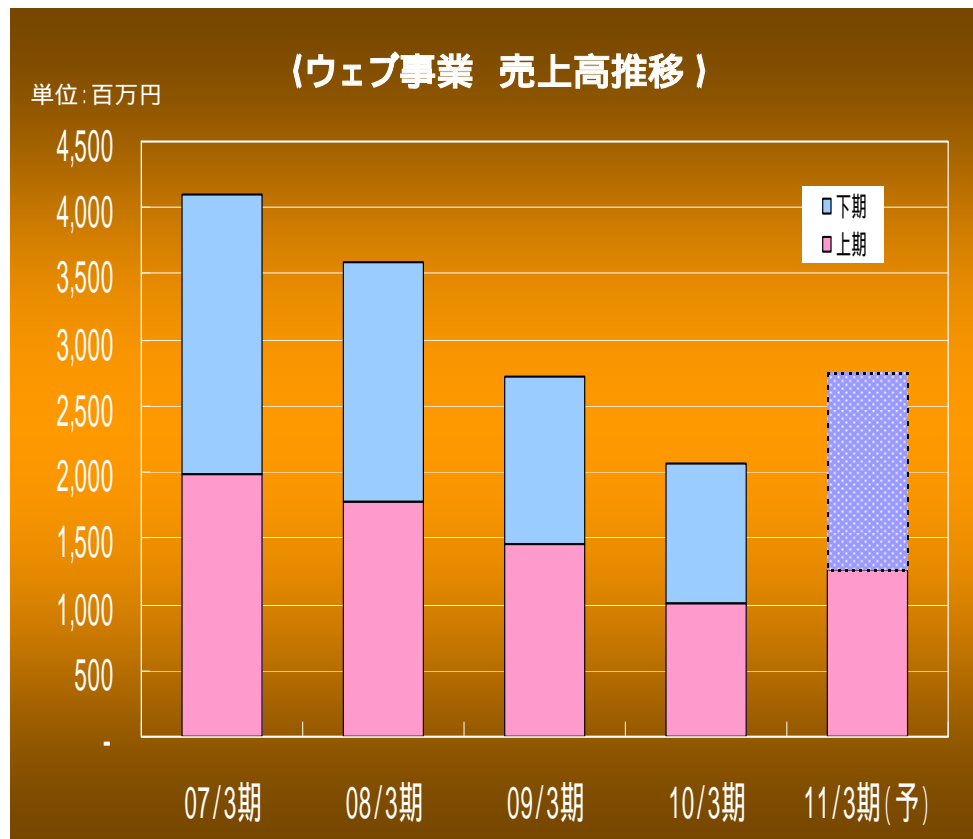
専門商社との提携により販売ルート開拓
海外向けに製品のコストダウン: 耳端位置制御装置、自動識別印字装置
現地のプラントメーカーと提携し、OEM供給による販路拡大を図る

ウェブ事業の概況

国内外のFPD増産や電子部品・電池関係の好調に伴い高機能フィルム向け制御装置の売上は前年同期比で約50%伸びた。とくに台湾・韓国向けの伸びは顕著だった。しかし、印刷向け制御装置が落ち込んだ。事業全体で、受注は前年同期に対し33.8%増、売上は25.3%増。

(単位：百万円)

売上高	1,264
営業利益	171



今期施策の経過状況

(国内施策)

遅れている新製品の開発を進めて、更新需要の刺激と国内シェアアップを図る

継続中

4月より営業、技術一体となる事業部の体制となって開発スピードが上がったことにより
超音波オートワイドセンサ、小型ガイドロール機構、小型テンションメータを販売開始

サービスの強化によりユーザーの満足度を向上を図る
八王子事業所にトレーニングセンターを設置

継続 次段階

八王子事業所内に技術研修室を設置した。今後はトレーニングの中身の充実を図る

(海外施策)

中国、韓国等のアジアの各拠点での営業活動を継続し、受注増を図る
韓国は安定した受注を上げており、パネル大手へのアプローチを強め
大幅な受注アップを図る

継続中

韓国での耳端位置制御装置、張力制御装置は順調に伸びている。
以前の代理店の関係で止まっていたパネル大手との関係回復に注力中

中国へは中国仕様のウェブガイド、さらに印刷向け制御装置

継続中

中国では広州の現地機械メーカーと提携し、ウェブ制御機器の確実な受注を見込める
機械メーカーへの売り込みに注力

第1～2四半期の実績は回復基調に転じた

フィルム関係増産の波及効果が現われ始めた

印刷機メーカーへのOEM提供の低迷

印刷機メーカーの大幅な生産調整が続く

受注環境は昨夏を底に緩やかな回復傾向

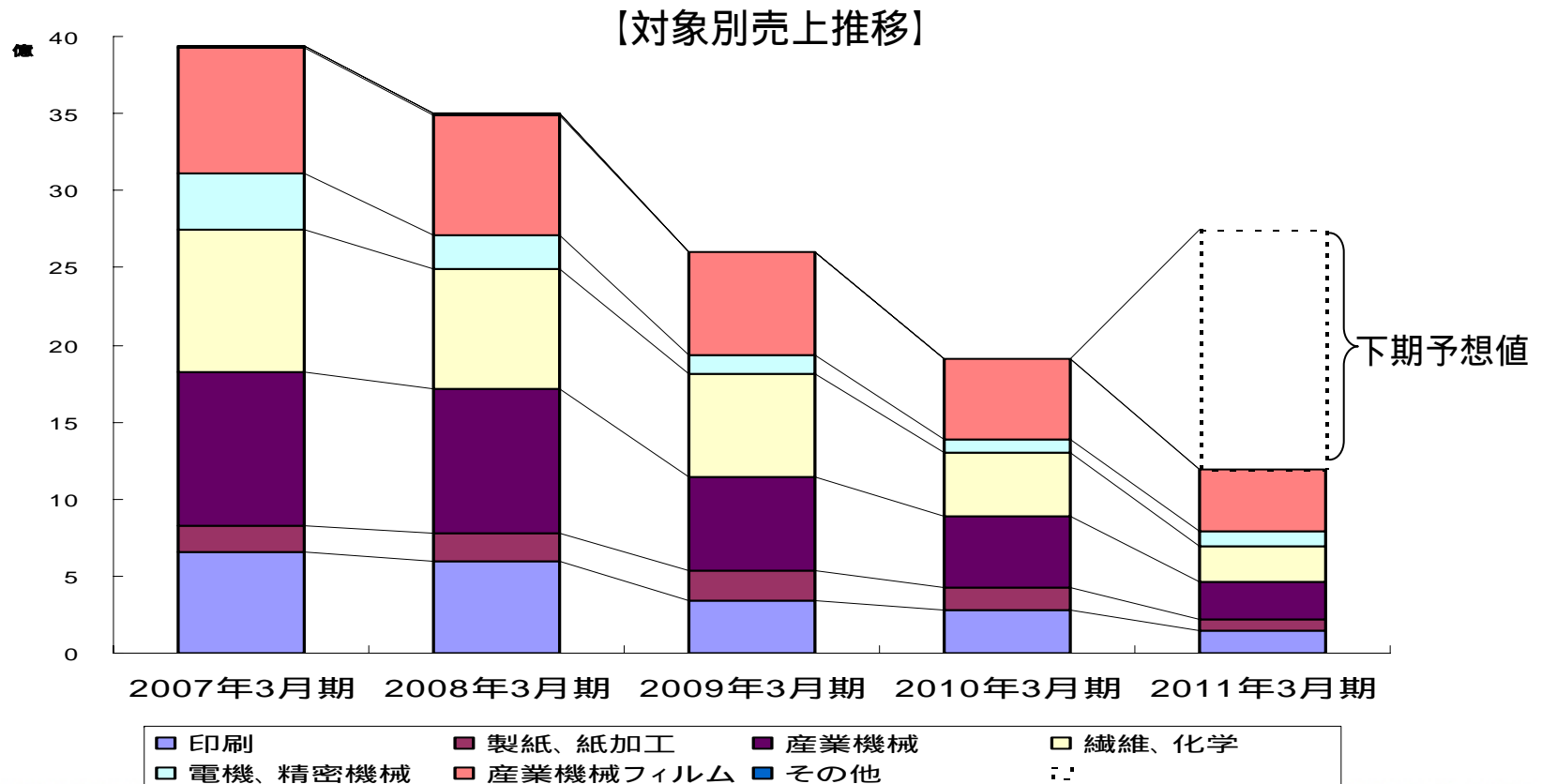
フィルムメーカーでは将来に向けた設備計画が動き出した波及効果が出始めた

コーター、スリッター等の関連機械メーカーは電池向け、海外向けで受注を急速に伸ばしている

コンデンサ等の電子部品関係が活発化し始めた

中国、韓国では、スマートフォン向けの設備増強、パネル関係も強気

印刷関係は厳しい環境が続く、とくに印刷機メーカーの生産調整が続く



ウェブ事業

第3～4四半期の施策

(国内)従来施策の継続

戦略型の新製品による更新需要の刺激と国内シェアアップを進める
遅れていた新製品の投入が為されたのでPRを強く進める
印刷向け制御装置と印刷品質検査装置を統合してグラフィア業界への働きかけを強化
将来に向けて検査装置の画像処理技術を用いての高精度制御に取組

(海外)

子会社により中国、台湾、韓国、東南アジアを重点に活動(良好な引合を受注に)

ニレコ台湾

ロックダウン生産の張力制御装置、見当合わせ制御装置について機械メーカー、商社、エンジニアリング会社への販売推進を強化
東南アジア(シンガポール、マレーシア、タイ、インドネシア)はエンドユーザーへの直接働きかけ、特に現地に進出した日本や台湾の企業
新たにベトナムに代理店構築(市場が未確立だが将来性あり)

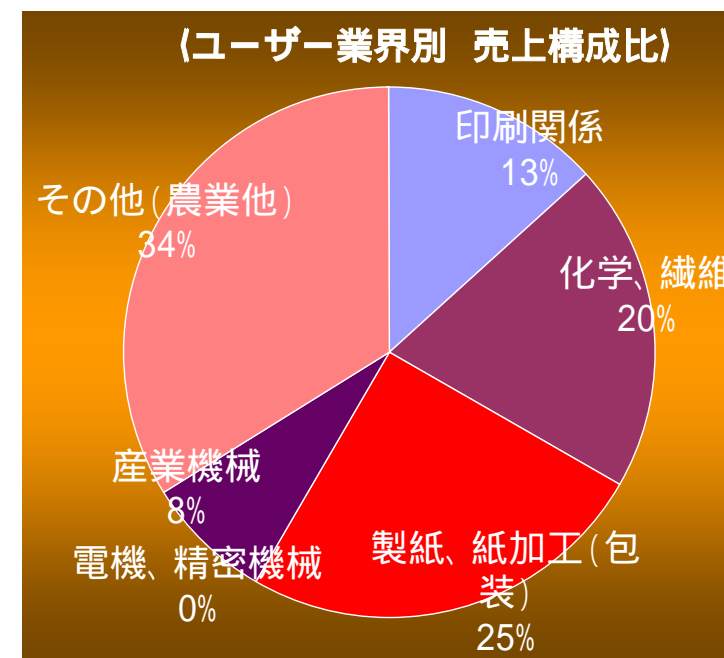
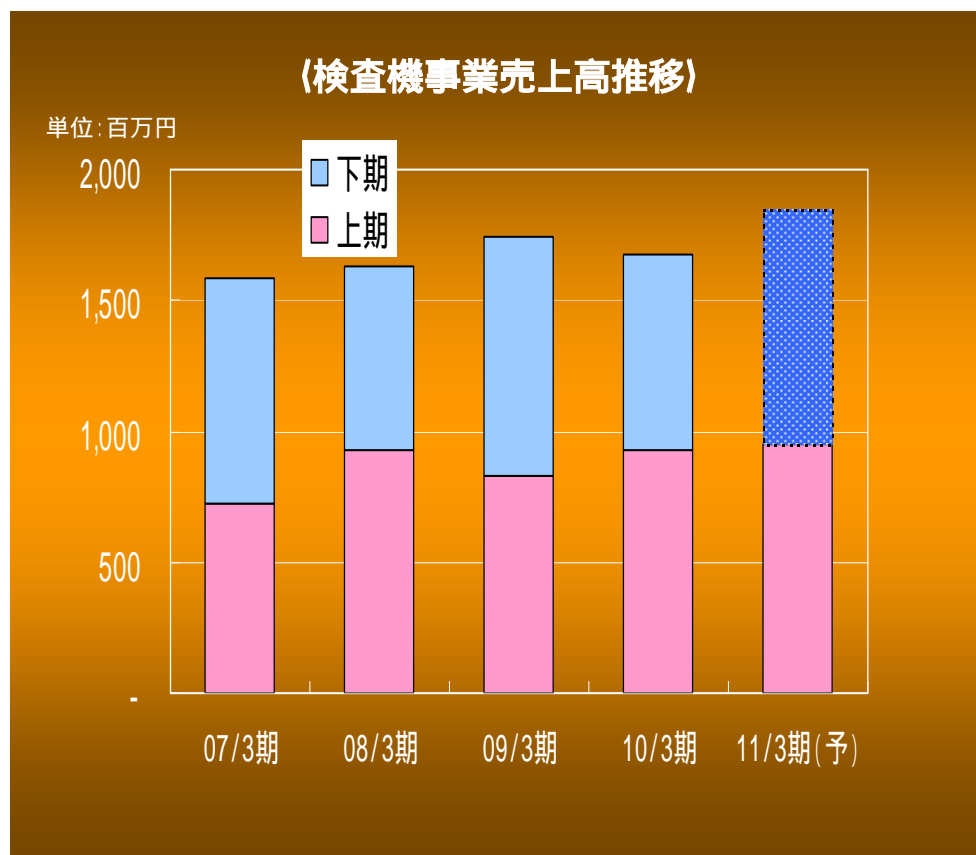
ニレコ上海

中国向け耳端位置制御装置のセット販売を本格化し、機械メーカー、エンジニアリング会社への販売活動を推進
BCON3000plusの現地生産を機に、機械メーカー、エンドユーザーへの販売開始

検査機事業の概況

印刷品質検査装置は、BCON3000plusが食品包装の更新需要が終わった。青果物検査装置が大型案件の獲得等で大きく伸びた。無地検査装置はフィルム関係の受注が回復に転じ、電極シート検査装置も受注を獲得した。その結果、事業全体の受注は前年同期に対し20.4%増、売上は2.6%増。

売上高	952
営業利益	107



今期施策の経過状況

(国内施策)

印刷品質検査装置は、BCON3000plusに対する他社の巻き返し。
機能による差別化戦略、ラベルなどの新市場への進出

継続中

競合他社は、性能、価格それぞれに特徴ある新製品を対抗して、市場に投入してきた。既存の印刷、包装は設備更新が終わり収縮し、新市場は未だ時間がかかる。

無地検査装置は、二次電池向けの電極シート欠点検査装置e-FlexEye-RBを電池業界を中心に営業活動を展開する。

継続中

今第1～2四半期において受注獲得があった。

(海外施策)

ニレコ上海でBCON3000plusの現地生産を開始
ニレコ台湾から台湾、中国、シンガポールの引き合いが活発、受注拡大を図る

継続中

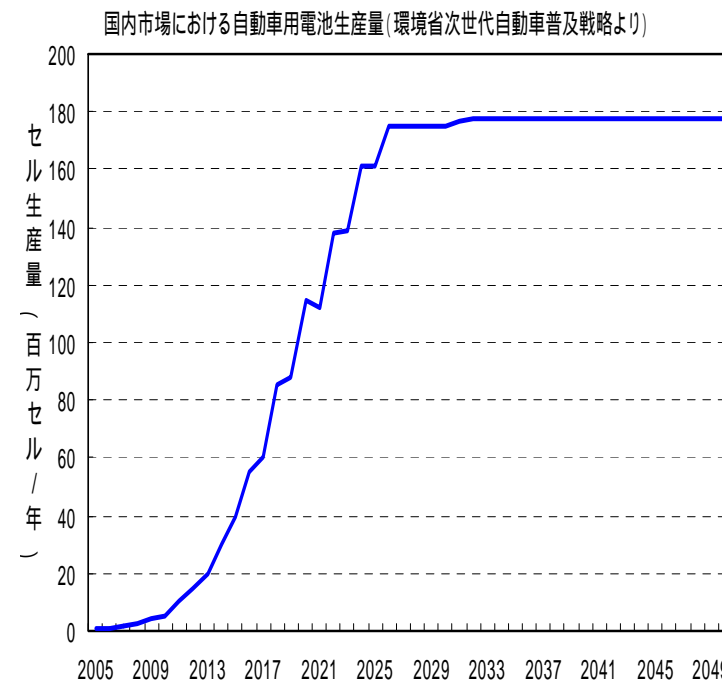
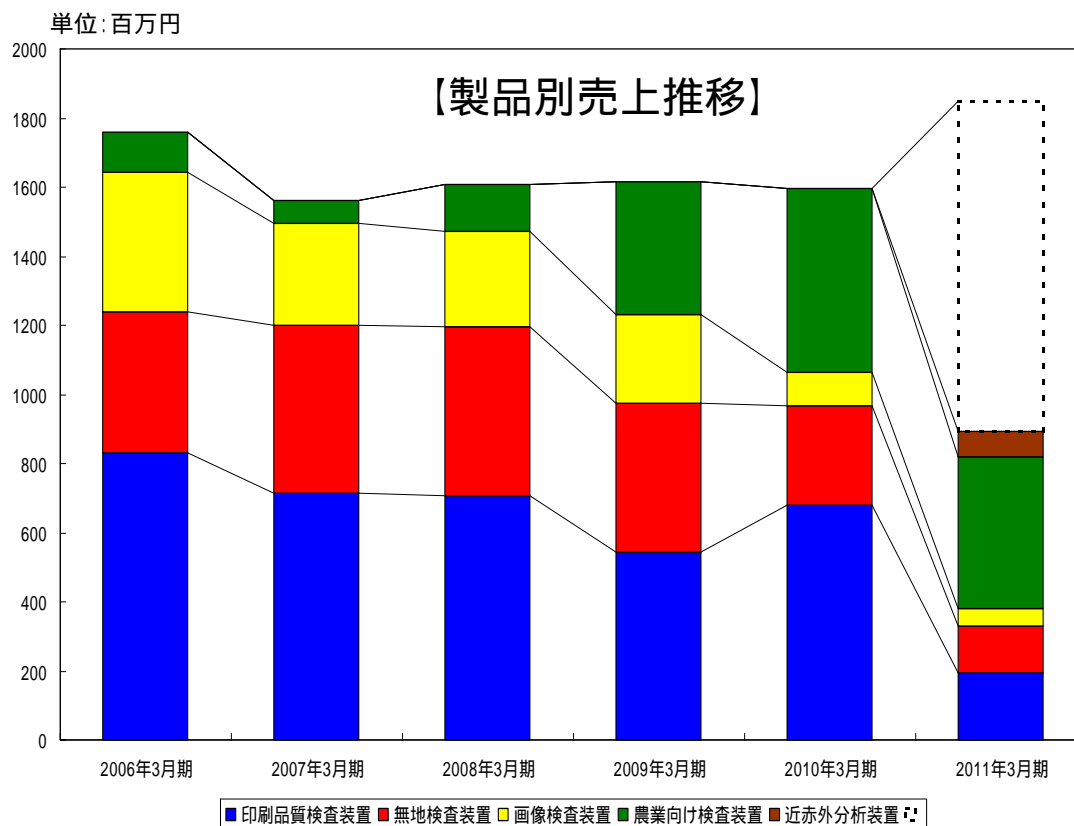
ニレコ上海でBCON3000plus生産を開始しアジア向けのコストダウンに貢献している。台湾、韓国、中国の機械メーカー等を中心に、東南アジアは現地に進出している日本企業から受注を伸ばした。

無地検査装置は回復傾向

フィルム、電子部品関係は止まっていた設備計画が動き出した
 リチウムイオン二次電池向け電極シート検査装置は引き合いから受注に結びつき始めた
 スマートフォン等で使用されるタッチパネル関係の設備投資が活発化している

農業向け検査装置

今期にみかん選果場の大型設備更新の納入があり、売り上げが一気に増えた
 農業関係の政府補助金が不透明で案件は減少だが、都道府県が予算を回すケースが増えてきた



検査機事業

第3～4四半期の施策

(国内)

印刷品質検査装置がウェブ事業に統合されたので無地検査装置に残った人員を集中する。

無地検査装置は、受注が回復基調にあり FPD展に出展しPRを推進する。

素材メーカーへの直接宣伝活動を強化する。

タッチパネル、有機EL等の次期有力市場への宣伝、調査を進める。

リチウムイオン2次電池向けの電極シート欠点検査装置は車載用電池の生産ラインが動き始め、引き合いが具体化してきた。

大手商社経由の販路拡大のため商社向け営業員を配置

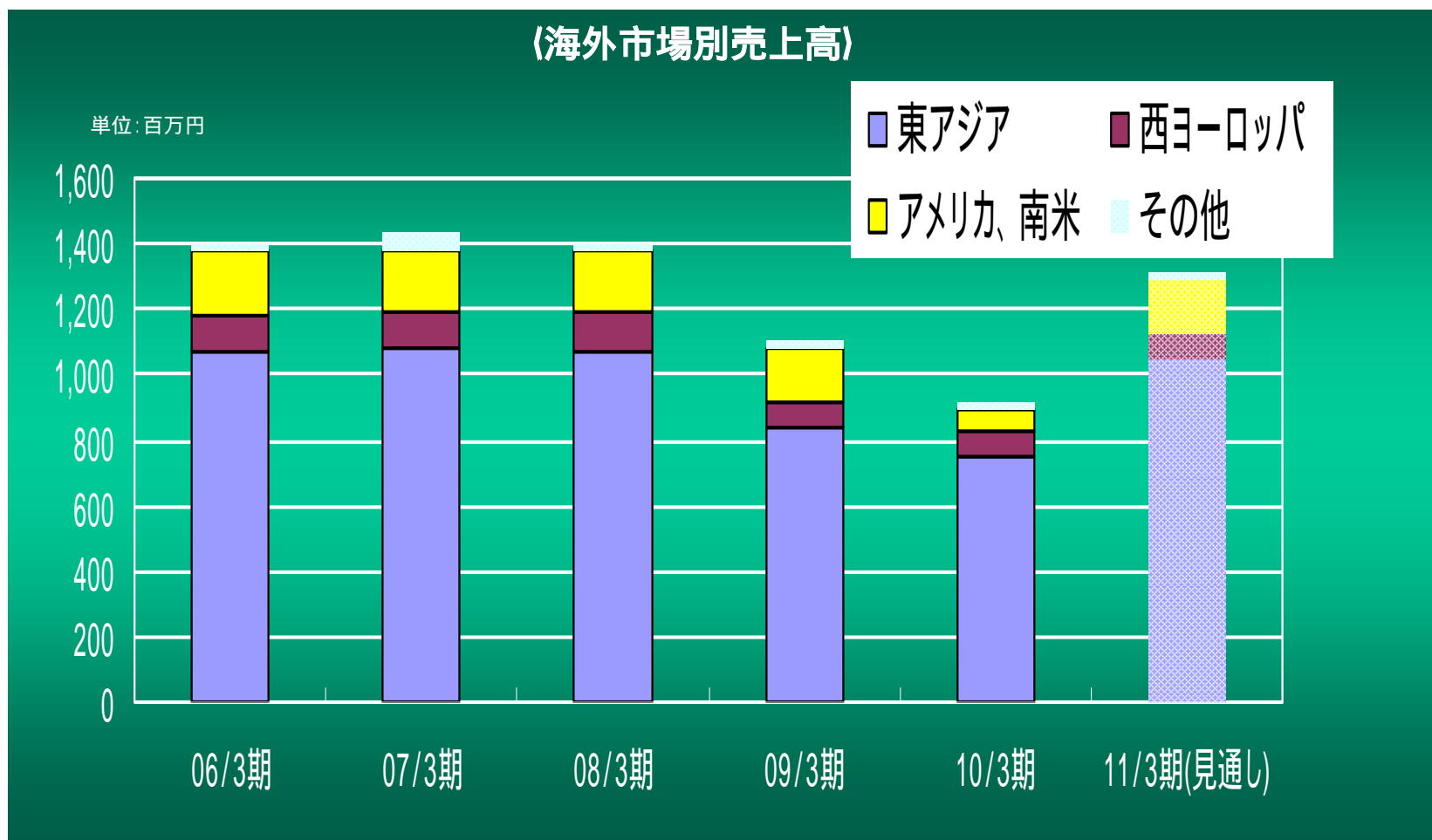
農業向け検査装置はみかん等の大型案件に注力する

(海外)

海外からの引き合いには積極的に応じる

海外売上の見通し

ウェブ事業の制御装置や印刷品質検査装置が中国、韓国、台湾で売上を伸ばしている
 プロセス事業はアジア地区を中心に販売活動



〈現在の状況〉

〈施策〉

中国

鉄鋼関係の新規設備は落ち着く。パネル関係の設備投資が活発。印刷関係では高品質の印刷への需要が起こっている

ニレコ上海工場で鉄鋼用マーカの製作第1号完成。フィルム、印刷向けにウェブ製品と印刷品質検査装置を主に機械メーカーに拡販し、実績を上げつつある。

韓国

鉄鋼関係は新規設備は落ち着き、アジア諸国へ積極的進出。パネル・電子部品は輸出増により強気の増産

代理店が、特にウェブ関係の制御装置で積極的に受注を獲得している。

台湾

鉄鋼関係は新規設備投資が落ち着く。パネル・電子部品は引き合い好調。

台湾子会社は堅実に業績を積み上げている。フィルム印刷関係の制御装置を現地でライセンス生産し、競争力を高めている。

インド
アジア

鉄鋼関係はインドの設備案件に世界中のプラントメーカーが殺到。東南アジアも好調でウェブ関係制御装置の需要

インドへは、プラントメーカー経由だけでなく、商社との連携で直接的な働きかけを強めている。東南アジアへは台湾からの営業活動。

北米
南米

鉄鋼関係はブラジルで、設備投資の動き

プラントメーカー、商社経由での活動

欧州

景気低迷の影響は深刻
印刷向け制御装置、検査装置の市場が一気に冷え込んだ

仏国子会社を規模縮小。
ニレコの海外営業担当の拠点として機能

ニレコ グループの概況

仁力克股价有限公司

台湾国内、中国、東南アジア等からの引き合いは良好。張力制御装置、印刷向け制御装置のロックダウン生産は順調。印刷向け制御装置と検査装置のセットが好調で、全体として前年比で受注30%増の見込み。

ニレコ計装株式会社

製鉄所の稼働率が回復してきたことに応じ、メンテナンスや消耗品の販売などのサービス需要が回復。受注、売上は前年同期を上回る。

NIRECO EUROPE

旧カルグラフィ社。従業員を削減し、サービスと引き合い対応に当たっている。

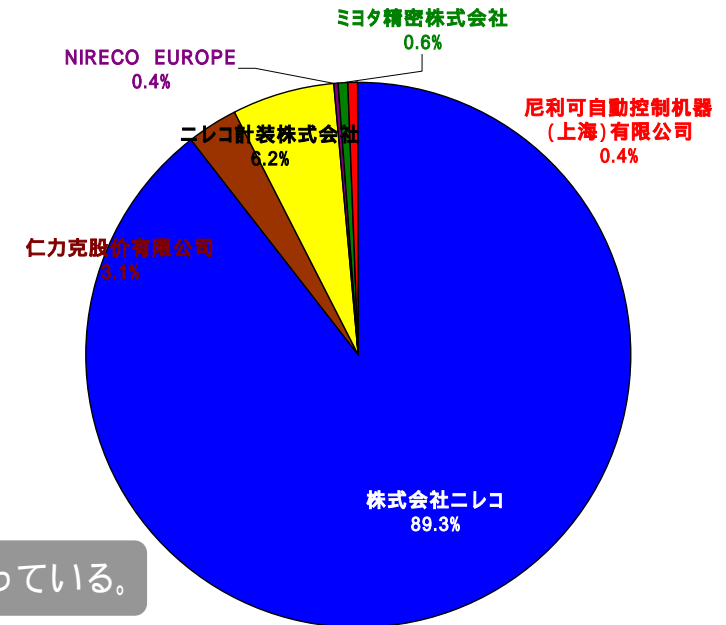
尼利可自動控制机器(上海)有限公司

自動識別印字装置を製作し、近日出荷。ウェブ関係の制御装置、検査装置を機械メーカー、エンジニアリング会社に積極的に売り込み、着実に受注を獲得している。

ミヨタ精密株式会社

グループの生産会社。ウェブ事業の業績の伸びに応じ回復傾向

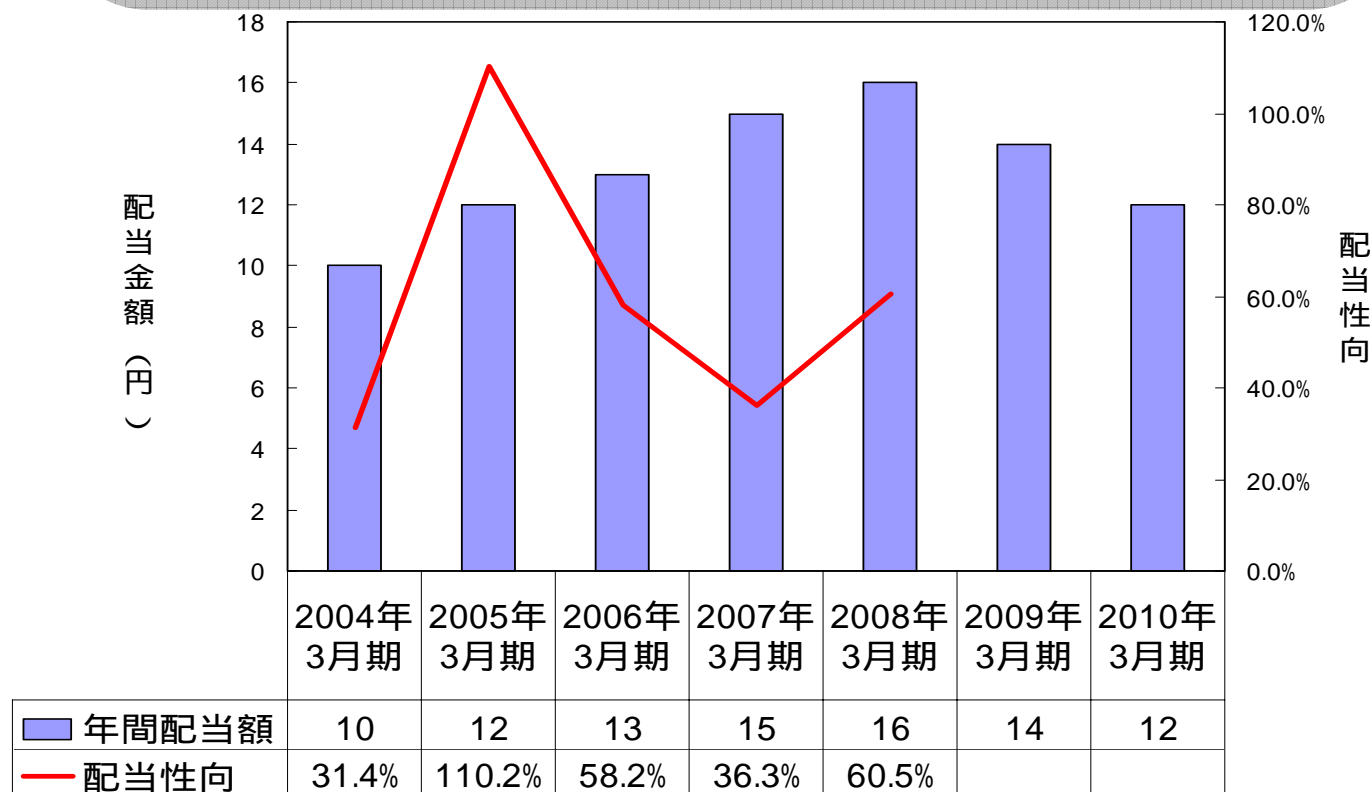
【グループ内売上構成比】



～ 配当政策 ～

安定配当を確保(配当性向35%以上を維持を原則)

2011年3月期の中間配当金は 6円/株



本資料に掲載されている、ニレコグループ(株式会社ニレコ及び子会社に関する記述の部分は、本資料の作成時において入手可能な情報から得られた当社グループの経営陣の判断に基づいております。

しかし、業績予想の数値は実際の業績と異なるリスクを内包していることにご注意下さい。当社グループは、常に最新の情報提供に努めますが、実際の業績は、業績予想以後に実際に生じる市場動向、経済情勢、消費動向、社内事情等の影響により、当社グループの経営陣が予想した数値と大きく異なる可能性があります。